

# 洲本の子どもたちとともに

洲本市地域おこし協力隊  
子ども子育て課所属

野原 輝人

# プロフィール

氏名 野原 輝人（のはら てると） ※あだ名はビースト

年齢 32歳

移住元 東京（出身：沖縄県）

委嘱日 2023年5月1日（活動期間 約6ヶ月）

活動内容 保育園での交流・体験イベントの企画・運営

保育や保育士の魅力向上

保育所業務の支援など





## 先生方からの声

- ・ 保育士不足により、休みが中々取りにくい
- ・ 日常の業務に追われて、保護者向けの情報発信（あんしんネットへの写真掲載など）に手が回らない
- ・ スキルアップ研修などを受ける時間がない
- ・ 行事の準備で手がいっぱい

## 保護者からの声

- ・ 色々なイベントを企画してほしい
- ・ 普段どのような様子なのか知りたい  
(あんしんネットへ写真をアップしてほしい)

# 洲本市の現状と課題

- ・ 保育士不足
- ・ 日常の保育業務で精一杯のため、積極的なイベント企画ができない
- ・ ITなどを活用して保護者の満足度を高める取組（例：あんしんネットへ活動写真などをアップする等）の余裕がない
- ・ 近年は洲本市出身以外の保育士の受験や採用も見受けられるが、まだまだUターン就職の割合が高く関西圏の保育系大学への積極的なアピールが必要

## 対策

### 短期

手が足りていない部分を直接サポートする

イベントの企画やあんしんネットへの様子のアップを代行する

（卒隊後、自走できるようにサポートする）

### 中長期

動画やSNSなどにより保育士の魅力について積極的にアピール

保育大学との域学連携を推進し大学生インターン等を積極的に受入

洲本市で保育士を希望する人を増やすきっかけ作り

# 活動実績①

FC. AWJの選手による運動教室の実施（公立保育園9園、私立こども園2園）



## 活動実績②

沖口まこと先生（元体操オリンピック選手）による体操教室の実施（公立9園）

※生涯学習課主催





## 活動実績③

芸術家の土谷先生による巨大紙相撲大会の実施（堺保育園、由良保育所）



# メディア露出

## 産経新聞

7/4(水)

地域ニュース

### 体動かすって楽しい!

FC.AWJ

淡路島を拠点に活動するサッカークラブ「FC.AWJ」のメンバーが洲本市立安全保護課を訪れ、園児にサッカーボールを使った運動教室を行った。園児たちは、サッカー選手の指導でドリブルやパスなども挑戦し、体を動かすのが楽しく笑顔で楽しんでいた。

#### 洲本の保育所で運動教室

淡路島を拠点に活動するサッカークラブ「FC.AWJ」のメンバーが洲本市立安全保護課を訪れ、園児にサッカーボールを使った運動教室を行った。園児たちは、サッカー選手の指導でドリブルやパスなども挑戦し、体を動かすのが楽しく笑顔で楽しんでいた。

FC.AWJの地域貢献として、メンバーが講師として市内の市立保育園などで、園児にサッカーボールを使った運動教室を行っている。園児たちは、サッカー選手の指導でドリブルやパスなども挑戦し、体を動かすのが楽しく笑顔で楽しんでいた。

園児たちは、「楽しかった」と笑顔で話していた。また、園児たちからは「サッカーが大好きです」という声も聞かれた。FC.AWJのメンバーは、「園児たちが体を動かすのが楽しかった」と笑顔で話していた。

FC.AWJのメンバーは、園児たちにサッカーの楽しさを伝えたいと、園児たちにサッカーボールを使った運動教室を行った。園児たちは、サッカー選手の指導でドリブルやパスなども挑戦し、体を動かすのが楽しく笑顔で楽しんでいた。

## 神戸新聞

### ドリブル、シュート 園児に笑顔

淡路島を拠点に活動するサッカークラブ「FC.AWJ」のメンバーが洲本市立安全保護課を訪れ、園児にサッカーボールを使った運動教室を行った。園児たちは、サッカー選手の指導でドリブルやパスなども挑戦し、体を動かすのが楽しく笑顔で楽しんでいた。

#### FC.AWJサッカー選手が運動教室

淡路島を拠点に活動するサッカークラブ「FC.AWJ」のメンバーが洲本市立安全保護課を訪れ、園児にサッカーボールを使った運動教室を行った。園児たちは、サッカー選手の指導でドリブルやパスなども挑戦し、体を動かすのが楽しく笑顔で楽しんでいた。

園児たちは、「楽しかった」と笑顔で話していた。また、園児たちからは「サッカーが大好きです」という声も聞かれた。FC.AWJのメンバーは、「園児たちが体を動かすのが楽しかった」と笑顔で話していた。

FC.AWJのメンバーは、園児たちにサッカーの楽しさを伝えたいと、園児たちにサッカーボールを使った運動教室を行った。園児たちは、サッカー選手の指導でドリブルやパスなども挑戦し、体を動かすのが楽しく笑顔で楽しんでいた。

## すもとかわらばん



※NHK神戸でも放送

# 現在取り組んでいること、今後取り組んでいくこと

## 協力隊のみなさんと一緒にイベント企画・実施

協力隊の皆さんがもっている経験やスキルなどを活かして、子ども達に対するイベント企画と実施について調整中です。

## 神戸常盤大学生の保育実習プログラムも絡めた官民学連携事業の提案

神戸常盤大学の生徒が保育所で保育実習をおこなっていただくことで、地域との交流が生まれ、貢献し、若い世代から淡路島を盛り上げていく環境が整っていき、よりよい島の未来へ繋がっていくと思っています。

保育実習プログラムも絡めたイベントの企画・実施を神戸常盤大学様×FC.AWJ×洲本市地域おこし協力隊(洲本市)の3者で実施していきたいと提案をしているところです。



## 保育所の横のつながり、縦のつながりの創出

保育所同士の交流や小学生、高齢者、大学生等との世代間交流を推進して地域ぐるみで保育をサポートする土台作りをお手伝いします。

# 最後に

## 自身が考える地域おこし協力隊の意義とは？ また洲本市地域おこし協力隊の魅力とは？

私自身が考える協力隊の意義については、外から来たからこそ、見たからこそわかる地域の魅力を先ずはその地域に住んでいる人に伝えて、気づいてもらうことが大事だと思っております。住んでいる人が胸を張って「いいところだよ、遊びにおいで」と言えることが一番のPRになると思っております。

淡路島は自然豊かで素敵な場所がたくさんあり、素敵な人がたくさんいて、おいしい食べ物もたくさんあります。洲本市はとても住みやすく、身も心も安らげる場所だと思います。洲本市に縁の無い学生さんにも魅力を知ってもらい、保育士やそれ以外の職種でも働いてもらいたいですし、安心して子育てできるまちであることをPRして、既に暮らしている子育て世代やこれから移住される方々にも魅力をお伝えしていきたいです。